＜様式１０－１＞

令和4（2022）年度　児童館事業年間活動報告書

小野児童館

		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
子ども育成機能	基本活動	運動場あそび	38		11									11	小学校の運動場で週１回ドッジボールを楽しむ	体を思いきり動かすことができる
		けんだまチャレンジ	22												けんだまの技に挑戦し検定を受ける	自由来館の参加がない
		ピンポンしよ！	12		1	35	3	11		1				51	月一回遊戯室をピンポン練習場にしてラリーを楽しむ	普段できない遊びに取り組む
		もしかめチャレンジ	22												もしかめの回数をカウントする	より多く回数を重ねられるよう努力する
		交通安全教室	1		1									1	山科警察署交通安全課の方からお話を聞く	交通安全の意識を高められる
		たなばた工作	6		2		2							4	たなばたにちなんだ紙工作に取り組む	工作を通じて季節を感じる
		夏工作でづくりクリアファイル	5		4		1							5	夏休みを利用して普段使えるモノづくりをする	工夫して創造する楽しさを感じる
		将棋週間	4		45		15							60	初心者から上級者まで将棋に集中して取り組む期間	粘り強く集中して取り組む力を培う
		将棋大会	1		20		5							25	将棋週間で培った力を発揮し、表彰する	努力した成果を皆で共有できる
		ハロウィン工作	8		3		3							6	光るおりがみを使ってハロウィンにちなんだ作品を作る	工作を通じて季節を感じる
		けんだま総練習	1												新１年生に上級生がけんだまの基本を教えたり、技を披露する	自由来館児童の参加がなかった
		防犯教室	1										3		山科警察署スクールサポーターの方からお話を聞く	防犯の意識を高められる
		けんだま総練習スタッフ会議	1												けんだま総練習当日の出し物や役割を決め、準備する	自由来館児童の参加がなかった
		クリスマス会	1		1									1	ゲームや出し物を学童と自由来館児童が一緒に楽しむ	自由来館児童の参加申し込みが少ない
		避難訓練（水害）	1												避難訓練と紙芝居で防災を学ぶ	身近な川や場所を想定して参加できた
		避難訓練（地震）	1												地震による火災を想定した避難訓練を実施する	防災への意識と訓練の大切さを学ぶ
		昔あそび	1												コマ回しや福笑いなど昔ながらの遊びを楽しむ	自由来館児童の参加がなかった
		冬工作スタッフ会議	1			11								11	工作の企画運営を決め、担当を話し合って決める	自由来館児童の参加申し込みがなかった
		豆うつし	1			22								22	節分の豆をお箸でつまんで皿から皿へ移しタイムを競う	季節にちなんだ遊びで盛り上がった
		冬工作ポーチ製作	5				2							2	布製のポーチに手作りのハンコを自由に押してデザインする	学童と自由来館児童が交流しながら製作した
		合計	133	0	88	68	31	11	0	1	0	0	3	199		
	推進活動	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	子ども育成機能　合計		133	0	88	68	31	11	0	1	0	0	3	199		

＊注　基本活動は，指針に基づき（２）遊びの教室活動（３）行事活動（４）クラブ活動（５）地域間交流促進活動（６）障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進（７）思春期児童の活動支援に分類して記
推進活動は，指針に基づき（９）地域を知る活動（１０）移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は，指定児童館のみ別途報告すること。

＜様式１０－２＞

（　２０２２　）年度　児童館事業年間活動報告書（小野）児童館

子ども家庭支援活動		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
	基本活動	はいはいクラブ	41	194						199				393	１歳半未満の随時登録制乳幼児親子対象読み聞かせや体操なども実施	乳幼児親子の交流の場となっている
	基本活動	よちよちクラブ	36	116						111				227	１歳半以上の随時登録制乳幼児親子対象読み聞かせや体操なども実施	乳幼児親子の交流の場となっている
	基本活動	すくすくクラブ	33	109						105				214	登録制の幼児クラブで、季節の工作やあそびを行う	子育ての悩みや喜びを共有できる場となっている
	基本活動	はぐみん	6	26						25				51	発達相談をしながら自由に遊べるひろば	発達に関する相談を気軽にできる場として学区を超えて活用されている
	基本活動	子育てサロン	9	16						16			12	44	小野学区民生児童委員協議会と共催　公会堂にて実施のひろば	民生児童委員さんと児童館が協力して地域の子育て支援ができる場となっ
	基本活動	夏のひろば	1	6		1				6			2	15	夏休み土曜日開催の家族参加型ひろば　クラフトやあそび	小学生と乳幼児親子の交流ができる
	基本活動	合　　計	126	467	0	1	0	0	0	462	0	0	14	944		

(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受理及び相談経路	件数	相談内容	件数	つないだ機関等	件数
	乳児	6	児童館にて直接受理	18	健全育成問題	7	児童相談所	
	幼児	3	児童相談所		家庭養育問題	9	保健所	
	小１～３年（自由来館）		保健所		成長・発達問題	2	子ども支援センター	
	小１～３年（学童）	9	子ども支援センター		教育問題		幼稚園・保育園	
	小４～６年（自由来館）		主任児童委員		非行・問題行動		小学校	
	小４～６年（学童）		その他		その他		中学校	
	中学生						総合支援学校	
	高校生						その他	統合育成
								↔病院
	件数　計	18	－	18	－		－	0

(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活動内容	育成・支援内容	成果と課題

(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活動内容	成果と課題

※注　基本活動は，指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動　②乳幼児の広場活動]（２）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

＜様式１０－３＞

（　２０２２　）年度　　児　童　館　事　業　年　間　活　動　報　告　書　　小　野　児　童　館

地域福祉促進機能

基本活動

	活動名	実施回数	主催	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	合計	連携団体	成果と課題
(1)地域住民との交流を促進する活動	居場所づくり	7	小野児童館	3	1	105		16	8	11	144	小野学区社会福祉協議会	異世代交流ができた
	おのっこひろば（子うま文庫さんのおはなし会）	0	小野児童館									小野民生児童委員協議会	コロナのため開催せず
	ステーション研修会・会議（発達に特性のある子どもへの理解）	1	小野児童館							11	11	小野民生児童委員協議会、勧修保育園、醍醐中央児童館	地域のネットワークを活かした子育て支援を考える機会となった
	合計	8	ー	3	1	105	0	16	0	22	155		

	活動内容	活動人数 中高生	大学生	大人	合計	成果と課題
(2)ボランティア						
	合計	0	0	0	0	

	連携団体等	連携内容	成果と課題
(3)地域との連携を	小野民生児童委員協議会	児童館から各事業の協力の依頼、児童館の様子などの情報の提供	児童館の役割と利用者の様子などを知っていただく
	小野学区社会福祉協議会	児童館から各事業の協力の依頼、児童館の様子などの情報の提供	児童館の役割と利用者の様子などを知っていただく
	小野小学校	子どもの様子や地域の状況など定期的に情報交換を行う	児童館の役割と利用者の様子などを知っていただく
	山科子どもはぐくみ室	子育て情報の提供と広報依頼、子育て支援事業への協力依頼	乳幼児事業を中心に区民に周知していただく機会につながっている
	放課後まなび教室	放課後まなび教室終了後、保護者の承諾の元、直接児童館を利用でき	自由来館児童にとっての居場所であることを知ってもらう機会となっている

＜様式１０－４＞

（　２０２２　）年度　児童館事業年間活動報告書　（小　野　）児童館

地域福祉促進機能

基本活動

(4)児童館を支える地域組織作り

組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
運営協力会	民生児童委員協議会 社会福祉協議会 少年補導委員会 交通安全委員会 防犯推進委員協議会 自治連合会 小学校 PTA	年１回会議を実施してきたが、コロナにより書面での開催とした。	事業報告と年間予定の報告	児童館の活動を知ってもらい、次年度以降の開催へつなげることができた。対面ではないので、各団体からの意見や要望を細かく聞けないのが課題

推進活動

(5)地域への施設提供

会場提供・備品貸出等	使用目的	提供先（団体・機関等）	成果と課題

(6)地域調査活動

調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
利用者共通アンケート	利用者ニーズ等の把握	児童館利用者	京都市社会福祉協議会	アンケート記入方式	利用者のニーズを細かく把握し、今後の運営などに活かしていく

＜様式１０－５＞

（　２０２２　）年度　　児　童　館　事　業　年　間　活　動　報　告　書　　（　小野　）児　童　館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広報活動	おのじどうかんだより	月１回	京都市立小野小学校	学校への掲示と全家庭と教職員への配布	児童館の定期広報	自由来館事業への参加したりあそびに来る子どもがいた
			小野民生児童委員協議会	各役員に配布	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館事業を理解していただき協力と連携につなげる
			小野学区社会福祉協議会	各役員に配布	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館事業を理解していただき協力と連携につなげる
			山科保健センター	当該施設で配付	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館事業を理解していただき協力と連携につなげる
			運営協力会	各役員に配布	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館事業を理解していただき協力と連携につなげる
	がくどうだより	月１回	小野学区社会福祉協議会	各役員に配布	学童クラブの活動内容の定期的な広報	地域との連携を深める
			小野小学校	教職員への配布	学童クラブの活動内容の定期的な広報	小学校との連携を深め学童児童の活動や生活を理解してもらう
			小野民生児童委員協議会	各役員に配布	学童クラブの活動内容の定期的な広報	地域との連携を深める
			運営協力会	各役員に配布	学童クラブの活動内容の定期的な広報	地域との連携を深める
	ホームページ（京都市の児童館）	月１回	主に乳幼児親子	ホームページ掲載	おのじどうかんだよりの掲載、事業の案内など	スマートフォンからおたよりを見て参加される方が多い
	はぐくみだより（アプリ含む）への掲載	月１回	主に乳幼児親子	山科区役所保健福祉センターへ掲載依頼	おのじどうかんだよりの掲載、事業の案内など	区役所や各施設に設置のおたよりやアプリを見て参加される方が多い